

令和7年度 大州学区地域運営委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・HPを開設し、積極的に情報発信を行うことで地域での認知度を高めることができた。
・地域課題の一つである、住民間のコミュニケーション不足と伝統文化継承のため、秋祭りを開催し、地域コミュニティの活性化に繋げることができた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	秋祭り事業	(4)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月25日 ~ 令和7年10月26日	
(2) 実施場所	大州学区 集いの家他	
(3) 参加者数	約300人	
(4) 主催団体	大州東町内会・大州南町内会・大州西組町内会・南蟹屋町内会	
4 取組内容	伝統的文化を継承するため、法被を着用し、神輿・太鼓を持ちながら町内巡回等を行った。学区全域に広報活動を実施するとともに、運営側の人材募集も行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	地域の伝統文化の継承と、行事への参加者減少により、地域コミュニティが衰退する中、地域住民が集える場所を提供することで、住民同士の交流を促進することを目的とする。	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	事業の広報活動を展開し、参加者を増やすことで、地域コミュニティの活性化に繋がるとともに、参加者の中から運営側の人材を確保することで、担い手不足を解消し、円滑な地域運営及び世代交代に繋がる取組となった。	

1 事業名	亥の子事業	(4)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月23日 ~ 令和7年11月29日	
(2) 実施場所	大州学区 集いの家他	
(3) 参加者数	約300人	
(4) 主催団体	大州東町内会・大州南町内会・大州西組町内会・南蟹屋町内会	
4 取組内容	伝統的文化を継承するため、法被を着用し、神輿・太鼓を持ちながら町内巡回等を行った。学区全域に広報活動を実施するとともに、運営側の人材募集も行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	地域の伝統文化の継承と、行事への参加者減少により、地域コミュニティが衰退する中、地域住民が集える場所を提供することで、住民同士の交流を促進することを目的とする。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	事業の広報活動を展開し、参加者を増やすことで、地域コミュニティの活性化に繋がるとともに、参加者の中から運営側の人材を確保することで、担い手不足を解消し、円滑な地域運営及び世代交代に繋がる取組となった。	

1 事業名	とんど祭り事業	(4)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年1月10日 ～ 令和8年1月12日	
(2) 実施場所	大州小学校	
(3) 参加者数	約800人	
(4) 主催団体	大州学区地域運営委員会	
4 取組内容	年長者から若者にやぐらの組み方を伝えることで、世代交流を図った。 参加者に餅を振る舞う等の飲食スペースを設けることで、住民同士の交流を促進した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	地域の伝統文化の継承と、行事への参加者減少により、地域コミュニティが衰退する中、地域住民が集える場所を提供することで、住民同士の交流を促進することを目的とする。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	事業の広報活動を展開し、参加者を増やすことで、地域コミュニティの活性化に繋がった。 また、参加者の中から運営側の人材を確保することで、担い手不足を解消し、円滑な地域運営及び世代交代に繋がる取組となった。	

1 事業名	広報事業	(4)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	大州学区内	
(3) 参加者数	—	
(4) 主催団体	大州学区地域運営委員会	
4 取組内容	ホームページ・SNS等を活用し、大州学区地域運営委員会の活動を発信した。 媒体ごとに責任者を立て、運営することで、それぞれのターゲット層へ確実に認知促進を行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	大州学区で最も深刻な問題と捉えている担い手不足の解決のために、地域運営委員会の活動内容はもとより、コンセプトや様々な取組の目的等について発信し、参加者の増加及び担い手の発掘に繋げる。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	取組やコンセプト等を発信し、知ってもらうことにより、活動に賛同する者や、事業への参加者を増やし、その中から運営側の人材を確保することで、円滑な地域運営及び将来の世代交代へ繋げることができた。	

3 自主財源で実施した事業

なし。